

## 参考：記念講演について

### 1 講演テーマ

「気候変動と国連—SDGs がもたらす未来—」

#### <講演の概要>

2030年までに経済・社会・環境のバランスを取りながら、持続可能な社会への変革を目指す世界目標「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2016年から実施の推進が始まり、2023年は2030年までの道のりの折り返し地点だ。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）・気候（Climate）・紛争（Conflict）の「3つのC」によるトリプル・パンチを受け、SDGsの進捗は2030年までの達成の軌道から大きく外れ、危機に直面している。SDGsを救済して軌道に戻すことを目指し、国連は4年に1度の「SDGサミット」と事務総長の提唱による「Summit of the Future」とを2023年9月に開催する。ロシアのウクライナ侵攻を上回る破壊をもたらしかねないのが、気候変動だ。今年の夏、北半球の各地で極端な熱波や大規模な山火事が相次ぎ、日本も例外ではなく、猛暑日が続くとともに北陸と東北を中心に水被害に見舞われた。個人も含め、あらゆる担い手が気候変動対策のためのアクションを実践して社会の仕組みを変革することが急務となっている。

### 2 講演者 国際連合広報センター所長 根本かおる氏



- ・2013年8月28日 国連広報センターの所長に就任
- ・東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP 国連世界食糧計画広報官、国連 UNHCR 協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。2016年より日本政府が開催する「持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議」の構成員を務める。2015年以来、SDGsの重要性を訴え続けたことが評価され、2021年度日本 PR 大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」を受賞。